



の協力のもと、ふれあい交流会を開催した。前半は地域の方が講師となり、「箸作り」、「しめ縄作り」など、7講座に分かれて親子で一緒に地域の方とのふれあいを楽しむことができた。後半は地域の方々の三味線の演奏や銭太鼓の演技を観たり、職員、児童生徒による合唱発表を聴いたりした。最後は会場全員で「ふるさと」を合唱し、地域の方々との絆を一層深いものにできた。



### ○救急救命法講習会・地区懇談会（小中合同）

#### ～安全マップ危険箇所の共通確認～

夏休みの水難事故防止や万が一の時に備えて救急救命法について講習を受け、地区懇談会をもった。地区長や各自治会長、主任児童委員の参加のもと、各地区に分かれて懇談会をもった。会では具体的に子ども達の生活の様子を交流したり、夏休みに向けた自転車通学の約束、通学路等の危険箇所の確認をしたりした。ここで確認した危険箇所をもとに今須小中学校区安全マップを作成した。



### ○命を守る訓練（火災、地震、不審者対応など）

自分の命を自分たちで守るため、日頃からいざというときに備えていろいろな場合を想定した訓練を行っている。今年度は5回実施した。いずれも自治会長を招き、警察や消防の方と共に学校と地域、専門機関が連携して対応訓練を行い、理解と協力を求めることができた。



### ○学校前の公衆トイレの掃除（毎週火曜日の朝 小5・6年生）

小5・6年生が中心となって学校の前にある公衆トイレの清掃活動を毎週1回行っている。引き継いできた伝統であるという自覚をもち、地域の方が気持ちよく使えるようにと気持ちを込めてトイレを磨いている。



### ○老人ホーム訪問

小3～6年までの文化福祉委員の11名が委員会活動の一環で地元の老人ホームを訪問した。童謡を歌ったり、手遊びをしたりして楽しい時間を過ごすことができた。別れ際には涙を流される方や児童があり、再会を約束して訪問を終えることができた。



ここがポイント	小規模校であることを生かし「異年齢集団による様々な活動」「保護者や地域と連携・協力した活動」が体験を通じた学びとなり、豊かな心を育てている。
ここがねらい	異年齢集団での活動や地域や保護者との活動を通し、人のために行動することの喜びや自分への誇りを高め、思いやりの心や進んで働くことの大切さを学ぶ。
効 果	小学生にあっては中学生に対する感謝の心や、目標、あこがれの気持ちを抱き、中学生にあっては小学生に対する思いやりの心や今須小中のリーダーとして自覚を持つようになってきた。 学校の様々な活動を、保護者や地域に働きかけたり発信したりすることで、学校の取り組みについて、深い理解を得ることができた。
学校等のコメント	小中併設校としての特色を生かし、この活動を今後も継続・推進し、児童生徒のより大きな心の成長につながることを願っている。

担当者氏名： 川島 雅徳